

国立大学法人総合研究大学院大学学長選考内規

平成16年7月9日

学長選考会議決定

一部改正 R4.2.21/R7.2.14

国立大学法人総合研究大学院大学学長選考要綱（平成16年7月9日学長選考会議決定。以下「要綱」という。）第9条に基づく学長候補者の決定方法については、この内規によるものとする。

第1 議長が第2次学長候補適任者となったときは、第2次学長候補適任者となっていない他の学長選考・監察会議の委員から議長を選出する。

第2 学長候補者を決定する場合の議決は、単記無記名投票により行う。

第3 過半数を得た者がいないときは、得票数の上位2名の者について決選投票を行う。

2 上位2名の者を決定することができないときは、次の各号によって定める。

（1）上位1位となった者が3名以上であるときは、上位1位の者すべてについて決選投票を行う。この場合において過半数を得た者がいないときは、第3の1に定めるところによる。ただし、再度の決選投票によっても、過半数を得た者がなく、かつ、上位2名の者を決定することができない場合には、2名の者を議長が決する。

（2）上位1位となった者が1名であり、かつ、上位2位となった者が複数であるときは、上位2位の者について投票を行い、得票数の上位の者を決定し、その者と上位1位の者について決選投票を行う。ただし、上位2位の者について投票を行った結果、得票数上位の者が複数であるときは議長が決する。

第4 第3の決選投票の結果、過半数の票を得た者を学長候補者とする。ただし、過半数の票を得た者がいないときは議長が決する。

附 則

この内規は、平成16年7月9日から施行する。

附 則

この内規は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和7年2月14日から施行する。